

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2020年10月26日】第62号



消毒用アルコール 校友から

新型コロナウイルスの勢いはまだ収まらず、日々、「消毒」の語が頭から離れない毎日ですが、この度、東京農業大学を通して農大稲花小に消毒用アルコールの贈り物がありました。送ってくださったのは、岩手県で118年続く老舗、銘酒「南部美人」で有名な蔵元の五代目久慈浩介様です。久慈様は東京農業大学醸造化学科の卒業生(校友)で、客員教授も務めておられます。

この度の新型コロナウイルスで医療関係者やケアが必要な子どもたちが消毒用アルコール不足に困っている様子を知り、4月からすでに消毒用アルコール生産を開始されたとのこと。テレビのインタビューで「おいしいという言葉はこれまでもたくさんもらってきたけれど、助けてくれてありがとうということばは人生で初めてもらいました。お酒・アルコールを作る免許を持つ会社の義務と責任において造れてよかったと思っています」と語っておられました。

本校に頂いた消毒用アルコール「南部美人アルコール65」も、子どもたちを守るために活用させていただくことにします。

【参考】

株式会社南部美人 <https://www.nanbubijin.co.jp/>



新高梨 見た！ 食べた！ 持ってみた！

重さが1Kgを超えることもある新高梨(にいたかなし)。10月20日(土)、高知県の方から頂戴したものを早速、図書室前に展示しました。アルコールで手を消毒した子どもたちに、その重さを実感してもらうこともできました。なんとその日の給食には、偶然、新高梨がデザートに。見て、食べて、持ってみて……。新高梨は大きさとともに、そのみずみずしさも子どもたちの記憶に残ったことでしょう。



事前入試面接 続いています

10月9日(金)から始まっている、2021年度入試事前面接。オンラインによるモニター越しではありますが、毎日、たくさんの保護者様そしてお子様との面接が続いています。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、農大稲花小も一斉臨時休業を余儀なくされましたが、面接を受ける保護者様も、在宅勤務が続いたり、幼稚園や保育園が休業になるなど、想像もできなかった環境の中でお子様を教育し、受験のご準備をされてきたことに頭が下がる毎日です。

喧嘩をさせない方法は

農大稲花小の子どもたちは、毎日、元気に遊んだり、勉強したりしています。しかし、ちょっとしたもめごとが無いとはいえません。もちろん、子どもたちのもめごとに、教員もしっかり対応しています。原因は何なのかをきちんと聞き取るとともに、何をしてはいけないのか、怒りたくなったらどうしたらいいのか、お友だちはどう感じたと思うのか、教員は保護者と連携しながら指導を進めています。

喧嘩の無い学校を作るのは簡単です。子どもたち同士を接触させなければよいのですから。もちろん、そんなことはできませんね。むしろ、子どもたちは、友だち同士でもめたり、喧嘩したり、あるいは、なぐさめ合ったり、助け合ったりしながら育っていきます。思うとおりにはないことだってあると気づくのも、大切です。手を振り上げるのではなく、言葉で説明できるようにならなくてはなりません。自分の感情をコントロールする術も学んでいくことでしょう。保護者に守られ自分が中心だった世界から、友だちとともに過ごす世界へと視野も広がっていきます。危険な行為やいじめは絶対に見逃してはいけませんが、子どもたちのところが健やかに育つよう、見守り、導きたいものです。

親子芋掘り体験

農大稲花小教育後援会が主催した「親子芋掘り体験」が、10月24日(土)、さわやかな晴天に恵まれて開催されました。世田谷区松原の圃場に、午前の部は1年生の子どもたちと保護者、午後の部は2年生の子どもたちと保護者が集まりました。三密を避けるための分散開催となりましたが、ほんとうに多くの皆様が参加してくださいました。



2年生の保護者様には「お久しぶり！」の、そして1年生の保護者様には「初めまして！」の機会となりました。

芋掘りだけでなく、東京農大国際農業開発学科教授の志和地先生にも参加していただき、お芋ミニ講義をお願いしました。サツマイモは涼しいところで1か月くらい寝かせるともっと甘くなること、茎を食べるジャガイモはお日様にあたると緑になるけれど、根を食べるサツマイモは違うことなど、保護者の皆さんも、じっくりと聞いておられました。また、サツマイモがアサガオの仲間であるということを知った子どもたちは、びっくりした表情をしていました。大学院生にも手伝ってもらった芋掘りの後、「一番変な形のお芋」を掘り当てた児童には教育後援会の会長から、「一番重いお芋」を掘り当てた児童には校長から、それぞれ表彰状が授与されました。表彰される友だちに、大きな拍手を送る子どもたちにも成長を感じたところでした。



サツマイモ「紅あずま」と
「黄金千貫(コガネセンガン)」

黄金千貫は、芋焼酎の原料に用いられる
サツマイモの品種の代表格です。

本校の教育後援会はいわゆるPTAではありません。ご家庭の環境や居住地も様々です。一方、新型コロナウイルスの蔓延で、活動もままならぬところで、教育後援会役員の皆様をはじめ、保護者の皆様も残念に思っておられたことでしょう。そのような中で、このように楽しい「親子芋掘り体験」を企画し、実現してくださったこと教育後援会の皆様に感謝しています。

校長 夏秋 啓子